

2031

マンション用プランター

A Planter for Apartment House

AD 37 安野 多雄
指導教員 島津 豊

1.研究目的

近年、室内でミニ観葉植物を育てる人が増えている。しかしマンションのため庭がなく置き場所がない、枯れてしまうなどの理由で育てられない人も多くいる。そのような人たちに観葉植物をもっと育てやすく、より観賞を楽しめる新しいプランターをデザインしようと思う。

2.調査と分析

- 1)観葉植物を売っているお店で、聞き込みをした。
 - ・観葉植物を購入していく客層は、30代~40代、性別は男性4:女性6で意外に男性も多い。
 - ・マンションに住む人には、普通の土植えよりも耐陰性に優れ虫も出にくいハイドロカルチャーが好まれている。
- 2)インターネットで信頼性の高いアンケート結果を検索した。
 - ・観葉植物にはリラクゼーション効果、異文化な雰囲気、ゴージャス感が求められている。
 - ・多くの人が小さめの観葉植物で花が咲くものを育てている。
 - ・60%以上の方がリビングに置いている。
 - ・育てる上で気を使うことは水遣り、日当たり、気温が多い。
 - ・観葉植物を育てている家では複数個の観葉植物を育てている。

3.コンセプトの立案

マンションで日当たり、気温が丁度いい場所を考えるとやはり窓際になる。しかし、ただでさえ物がたくさん置いてある窓際に複数の観葉植物の置き場所を確保するのは難しい。そこで複数の観葉植物を窓際に設置するため「壁面」に設置できるプランターを考える。また観葉植物の観賞をより楽しめるよう照明に工夫をする。

4.デザイン展開

まず、複数のミニ観葉植物を育てることを想定し、3つのプランターを連立して設置するデザインにした。プランターの形は、3つ連なって美しいデザインにするため、逆三角錐にした。そして、植物を植えたとき根がしっかりと下にのぼせるように壁と垂直にした。また色は壁の色を問わずなじめるよう、白とした。

照明の当て方は、プランターの使い方や使う環境によって違うため、二つの電球を容器の下部と先端に取り付けスイッチで制御した。容器の下部にある電球は下にある植物を上から照らし、先端についた電球は斜め下から植物を照らし後ろの壁にその植物のシルエットが映し出される仕組みにした。また最上部のプランターは上に別のユニットを作ることで上からの照明を可能にした。

電源はプランター3つをコードでつなげることでコードを一本にまとめ、目立たなくさせた。

5.完成図



6.結論

完成したプランターを実際にリビングの壁に飾ってみたところ、植物に統一感が出て、照明により植物の個性がさらに引き立つようになった。しかし、水遣りの際に電球に水がかからないようにする必要があるため、防水面での改善が必要だと感じた。

今回の研究で、もっといろいろな方向から物事をみることが大切だと感じた。

7.参考文献

- ・納得工房 積水ハウス
(http://www.sekisuihouse.com/nattoku/koubou/info/datas/enquete_data/vol19/index.html)
- ・ネットリサーチ
(<http://www.dims.ne.jp/timelyresearch/2007/070525/>)
- ・ゆびとまスペクトラム
(<http://www.yubitoma.or.jp/research/result/r417.html>)